

特色ある教育活動

(1) 家庭・地域との連携について

「鷺寺（鷺宮寺子屋自主学習会）」「百人一首教室」「しらさぎ音読の会」など、家庭・地域との連携による学力向上についての取組を継続しています。また、様々な校内行事にも、児童の成長の姿を相互に実感できる機会として、積極的に保護者・地域の参観を周知しています。



さらに、地域行事に学校が積極的に参加し、町会や商店会、同窓会等の人材を活用してキャリア教育を推進し、地域の異校種間との連携をするなど相互に交流を深めることで、児童の地域を愛する心を学校・地域・保護者が協働で育むことを目指しています。

(2) 心の教育の推進



道徳教育の視点から生命尊重の精神を育むとともに、各学年の指導計画において、発達段階に応じた重点を設定しています。特に、命に触れる体験的な活動として、学校飼育活動（アニマル当番）に取り組んでいます。また、道徳の時間を要として各教科等との連携を図った指導を行い、命の大切さを自覚し、よりよく生きようとする児童の育成を目指しています。

(3) 音読活動

毎週金曜日の中休みにおいて、各学年の音読集を活用し、「しらさぎ音読の会」の方々のご協力により、詩の暗唱等の音読活動を行っています。さらに音読・群読、百人一首の暗唱、また、詩の創作活動を通して、表現する楽しさや言葉の響き・リズムを実感させ、言語感覚を磨き、言葉による豊かな表現力と感性を育てています。年2回の音読発表会をその成果の発表の機会とし、音読活動への更なる興味・関心を高めています。



(4) 「ノーテレビ・ノーゲーム運動」の取組

「早寝、早起き、朝ごはん、テレビやゲームを消して外遊び」を呼びかけ、学校と家庭、地域が一体となって児童の生活習慣の改善に取り組み、メディアコントロールのできる健康な生活態度を育てています。特に、カードを用いて「ノーテレビ・ノーゲーム運動週間」の取組を年2回行い、取組の重点化を図っています。

(5) クリーングリーン・挨拶活動

委員会活動に位置づけた校庭や公園の清掃活動を通して、自主的に奉仕活動を実践する態度を養うとともに、自分たちの愛する地域をきれいに保つために、自ら考え、判断し、よりよい環境づくりや環境の保全に配慮した行動がとれる態度や実践力を育てています。高学年児童が中心となって元気な朝の挨拶をすることで、よりよい集団生活をしようとする態度を育てています。

(6) 体力向上

体育の授業や年3回の体力向上旬間等を通して、休み時間や放課後、家庭においても運動の日常化による主体的な体力の向上を目指すとともに、家庭と連携した生活習慣改善を図るため、食育の推進に取り組み、栄養等の正しい知識を身に付けさせる取組を行っています。

小中連携教育（中野区立第八中学校区 第八中学校、西中野小学校との連携）

小・中学校の9年間を見通した教育活動を行う学校間の連携を推進するため、「小中連携教育協会」「オープンキャンパス」「乗り入れ指導」等の取組を進めています。また、平成30、31年度は、中野区学校教育向上事業研究指定校として、第八中学校区の3校（第八中、西中野小、鷺宮小）で小中連携による学びの連続性の構築を図るとともに、地域の活性化に貢献できる取組を模索、実践しています。

(1) 小中連携教育協会では小学校と中学校において、相互に関連している学習指導や生活指導の具体的事項について、全教職員で協議しています。

(2) 「オープンキャンパス」では、第6学年を対象に中学校での授業体験や部活動体験を実施しています。

(3) 「乗り入れ指導」では、小学校、中学校の教員が互いに行き来し、第6学年と中学校第1学年を対象とした授業を連携して行っています。異校種T2のよりよい活用方法を開発しています。

(4) その他、運動会、地域等の行事に中学生をボランティアとして活用し、小学校1年生から中学校3年生までの9年間での連携を実践しています。



これらの取組を通し、教科指導や生活指導、望ましい連携の在り方や児童・生徒についての理解等を図り、第八中学校区として、発達段階や学びの連続性を踏まえた意図的・計画的な指導過程を工夫し、一貫性のある継続的な指導を目指しています。

オリンピック・パラリンピック教育

各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動においてオリンピック・パラリンピックの歴史や意義について理解します。各教科においては、運動やスポーツへの関心を高め、楽しみながら体力を向上する体育学習の改善を目指します。具体的には、4つのテーマ「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」を4つのアクション「学ぶ（知る）」「観る」「する（体験・交流）」「支える」で進めていきます。

道徳においては、様々な対象との関わりを考える中で、日本の伝統的な礼儀や作法を学び、総合的な学習の時間においては、日本の伝統的な文化や習慣について学んだり、世界の国々の歴史や文化に触れたりすることで国際理解教育を更に深め、特別活動においては、行事などを通して、ボランティアの心を育てていきます。

アスリートや障害を持つ方々との直接のふれあいを通して、夢をもって目標に向かって努力することや、障害を努力によって乗り越えることの尊さを学んでいきます。

和室にて行われている「茶道クラブ」や白鷺音読の会の方々による「百人一首教室」などは、「日本文化」に直結する取組です。

「クリーン・グリーン活動」をはじめとする常時ボランティア活動や、中野エコチャレンジに全学年で取り組むなどの活動を通して、「環境」への意識も高めています。